

	長崎大学 保健系分野（薬学）
学部・研究科名	薬学部（薬科学科（4年制）：40名、薬学科（6年制）：40名） 医歯薬学総合研究科（M：68名、D：100名）
沿革・設置目的	<p>第五高等学校医学部薬学科、長崎医学専門学校薬学科、官立長崎医科大学附属薬学専門部を経て、昭和24年、薬学に関する教育・研究を行うことを目的とし、長崎大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 長崎大学薬学部設置</p> <p>昭和40年（1965年） 大学院薬学研究科を設置（平成14年に医歯薬学総合研究科に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成18年（2006年） 薬学科（6年制）、薬科学科（4年制）を設置</p> <p>平成24年（2012年） 生命薬科学専攻（博士前期課程・後期）を設置</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長崎大学の理念等に基づき、医歯薬融合型の研究科組織を活かし、チーム医療の現場で活躍でき、地域医療に貢献しうる薬剤師や臨床薬学研究者・教育者、高度専門薬剤師を養成するとともに、創薬等に関する高度の専門的知識を修得し、医薬品の開発や供給などを担う研究者・技術者を養成する。 ○ 薬剤師・看護師をはじめとする医療・福祉分野の専門職を養成する県内3大学、自治体、職能団体等と連携し、多職種協働により在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成体制の構築に取り組む等、在宅医療と福祉に重点を置いた教育を積極的に展開する。 ○ 感染症や放射線障害を中心とする創薬研究や、アジア・アフリカにおける感染症対策をはじめとする国際交流・貢献活動を積極的に推進するとともに、これらの分野の次代を担う人材を育成する。